

令和7年度 千代崎中学校区 拡大学校運営協議会(第2回) 実施報告書

1 日 時 令和7年9月10日(水) 15:00~16:00

2 場 所 千代崎中学校図書室

3 あいさつ【千代崎中学校 学校運営協議会委員長】

- ・昨年度、千代崎中学校区の拡大学校運営協議会を立ち上げ、今回が2回目となる
- ・昨年度は千代崎中・玉垣小・愛宕小の各運運営議会代表者が参加して協議を行ったが、そこでの意見を反映して、今年度は全委員参加形式での開催となった。
- ・委員が実際に場を共有して、対面で協議・熟議することにより校区として運営協4会の活動を更に活性化させていただきたい。

4 拡大学校運営協議会についての説明【千代崎中学校長】

第1回拡大学校運営協議会(令和6年度)で確認された以下2点を共有

- (1) 年1回拡大学校運営協議会を開催し、情報交換を行うとともに千代崎中学校区のこどもたちの健やかな育成について熟議を行う。
- (2) 子どもたちの健やかな育成の取り組みを広める活動をそれぞれの団体に協働する。
 - (例1) あいさつ運動の取り組みを広める。
 - ・朝、お子さんを家から送り出し、近所の子どもに大人の良き姿として、見返りを求めないあいさつをする。
 - (例2) 子どもたちの交通安全についての取り組みを広める。
 - ・教育施設の周辺については、いつも以上に安全運転をして、大人の良き姿として、子どもたちの命を大切にする行動を行う。

5 グループ別協議

(1) 出席者を6グループに分けて以下について協議・熟議を行った。(以下抜粋)

【あいさつについて】

- ・あいさつ運動については、各地区の実情に応じて柔軟に実施している。(民生委員+ボランティア/ 朝は保護者+帰りは民生委員 など)
- ・校内へみえる方には挨拶できるが、道路ではなかなか挨拶ができない。学校外だとタイミングもつかめず難しいのかもしれない。
- ・自治会組長会議でもあいさつ運動の取組を行っている。
- ・児童も中学生も子どもたちから挨拶してくれることが増えている。最初はあいさつがないが、こちらから声をかけて慣れてくると元気な挨拶が帰ってくるようになった。
- ・コロナを境にして挨拶運動が縮小している部分もあり、PTAの役員が担っている。

【交通安全について】

- ・横断歩道の位置が不便な場所が複数ある。(場所を少し変えるだけで、登下校の安全性が

高まるのでは)横断歩道の設置や移設に関しては行政へ依頼したいが、なかなか難しい。

- ・中学生の自転車通学と小学生の集団登校と時間帯が重なり危険な時がある。(坂道のスピード等)
- ・中学生のヘルメット未着用や小学生のグリーンベルトの通行でマナーが気になる時がある。特に下校時は分散で帰るため、よりマナーが悪くなるため、学校だけでなく、家庭でも声掛けが必要である。
- ・小中学生が道路を横断する際は、意思表示(手を挙げるなど)をするなどの行動をさせる必要があるのでは。(自分の身は自分で守ることを教える。)
- ・保護者も子どもと一緒に通学路を歩くことで、保護者目線からも危険箇所を含め改めて考える機会となった事例があった。他の保護者にも発信してくれている。
- ・中勢バイパスが完成してから交通量が増えており、生活路への車の進入も多くなっており危険である。学校を含め子どもが利用する施設や通学路の安全確保は課題だと感じている。

【その他】

- ・地域によっては宅地開発が進み子どもの数が増えており、活気づいているように感じる。しかし、その反面安全対策や学校以外の遊び場の確保が課題である。昔からある駄菓子屋を扱う商店もなくなっている。
- ・子どもの居場所づくりは大切である。子ども食堂を立ち上げ、モーニングの取組を進めている。少しでも不登校の子どもが減ってくれればと思う。
- ・地域の公園が中高生のたまり場になってしまう。(特に夜)その対応に苦慮する。
- ・地域行事を通して学校と地域がつながっていくのも大切である。地域住民も楽しみである。しかし、週休日となると働き方改革の視点からは難しい部分もある。

(2) グループ協議を通して全体に共有した内容

- ・昨今は防犯面からも「見知らぬ人とは話をしない」という風潮もある。そこで、あいさつ運動を行う際に、ベストや腕章などがあると、あいさつ運動を行っていることが分かるため準備していただくと助かる。
⇒教育支援課に腕章があるため、連絡があれば配付することが可能である。
- ・中学校の通学路を小学校にも共有していただくと危険箇所の把握や中学生への注意喚起の際にも役立つと考えられるので共有をお願いしたい。

6 CSアドバイザー講評

- ・本年度は2回目、各校の運営協議会委員が一堂に会しての会議であったが、やはり対面で各協議会での取組や現状を交流しながら、9年間の子どもたちの成長を見据えて中学校区として何を取り組めるかについて意見交流をできた意義は大きい。
- ・昨年度の第1回で出された意見を踏まえての、第2回目の拡大委員会ということであり、協議内容につながりがあるものであった。
- ・グループ別協議では、予想以上に闊達な意見交換が見られた。やはり、議題を「あいさつ」「交通安全」と校種に縛られない意見の述べやすいものに設定してあったからであると思われる。是非とも、次回の各校における運営協議会で本日の協議内容について情報共有を

図っていいいただきたい。

・千代崎中学校の説明の中で「防災ノート」について言及していたが、想定される大地震が発生した際、やはり中学生の力は大きいものである。以前は千代崎中学校区でも小中合同で取組を行っていたと聞いている。是非とも運営協議会の場合でも、そのような取組について意見を出していただきたい。

6 その他

今後の拡大学校運営協議会予定(案)9月第2週水曜日

第3回 令和8年9月9日(水) 15:00 千代崎中学校